



東北大学グローバルCOE

第2回

Network Medicine特論

講義のお知らせ

松本 雅記 博士

(九州大学・生体防御医学研究所・生体多階層システム研究センター)

「定量プロテオミクスによる 新たな生命科学研究法」

日時: 9月9日(木)17時30分～

場所: 医学部1号館2階大会議室

現在、ゲノム科学の発展によって得られた情報を基盤とした網羅的解析法が盛んに行われている。特に近年急速に発達した質量分析計を用いたプロテオーム解析はタンパク質の時空間的発現情報、相互作用情報、さらには翻訳後修飾情報を与える。これら情報は様々な状態で刻一刻と変化するダイナミックなものであることから、プロテオーム解析をより生物学的に価値あるものとするためには、定性(タンパク質の同定など)に加えて定量的な情報を取得する必要がある。本講義では安定同位体標識法を利用した定量プロテオーム解析法の有効性をその応用例を交えて解説する。さらに、ヒト完全長cDNAリソースを利用した次世代定量プロテオミクスについてもその概要と現状を紹介し、その将来展望について議論したい。

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思います。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。

拠点リーダー 岡 芳知 / 担当 五十嵐 和彦